

とリルさんのこの長年に渡るお働きの一部を担わせていただき、祝福を受けてきました。私たちの脳裏に焼き付けられた思い出はいつまでも心の奥深いところで生き続けることでしょう。

ジャック・マーシャル  
リジョイス・インターナショナルの牧師、DMI日本の理事

神が私をDMIに召されるずっと前に、私はネヴィルと出会いました。印象的だったのは、彼が本当に謙虚な人であるということでした。国際的な指導者であり、宣教の先駆者である彼が、こんなにも謙虚だなんて…？10年前、彼と最初の宣教旅行に行った時、私はさらに多くのことを発見しました。それは愛でした！彼がろう者をどのように愛していたか、そしてろう者がその愛にどのように応えていたかを見たのです。そして、私自身も愛されていると感じました。神がネヴィルをご自分のもとに連れ帰ったとき、彼はイエスから学んだであろうリーダーシップの基準を定めたミニストリーを去ることになりました。それは謙虚で愛に満ちた方法で人々に奉仕することによって人々を導くというものでした。「わたしたちが愛するのは、神がまずわたしたちを愛してくださったからです。」ヨハネの手紙一 4:19

グンナー・デーリ  
DMIインターナショナル・ディレクター

ネヴィル・ミュアー氏は、偉大な人物でした。彼は世界中の何千人もの人々に愛され、賞賛されていました。彼は多くの知らないファンから愛される有名人とは違い、個人的に付き合いをしてきた人々から、尊敬され、愛されていました。彼は、揺るぎなく神様を追い求める心を持った人だったのです。

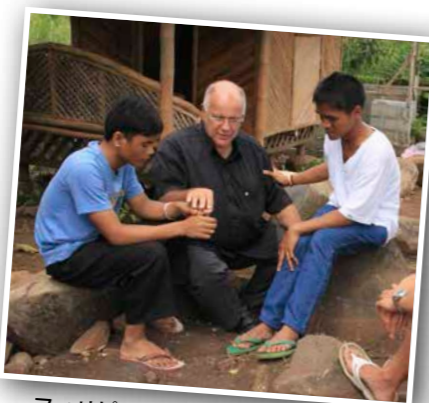
彼が行くところにはどこでも、イエスの臨在がありました。どこに行っても人々はネヴィルに癒えてくれました。誰もがネヴィルを愛し、彼には常に神のご加護があったのです。彼が謙虚に優しくユーモアをもって、そして驚くほどの思いやりをもって人々に関わっているのを見ると、私達はとても幸せな気分になったのです。

ネヴィルの夢は、発展途上国のろう者に教育と雇用を与え、福音を伝えることでした。



ミャンマーにて、ネヴィルとアンドリュー  
Neville and Andrew in Myanmar

ネヴィルは苦難と困難に直面しても、いつも偉大な信念を持っており、いつも冷静で信頼の厚い人でした。彼の不可能なように思える伝道活動は時に意味があるのだろうかと思えることもありましたが、見捨てられた人々へのネヴィルの愛は尽きることがなく、彼は常に神を信じていました。するといつも、どういうわけか、さまざま人々に手を差し伸べることができたのです。どういうわけか、適切な場所が見つかったり、お金が入ってきたりしたのです。どういうわけか、全ての物事がうまく進んだのです。



フィリピンでろう者とろうもう者と  
一緒に祈っている姿  
Praying with a Deaf man and a Deaf-blind man in the Philippines

ネヴィル・ミュアー氏の人生は、私が今までに出逢ったキリスト教徒の生き方の中で、最も素晴らしい模範でした。彼は、誠実で実り多き奉仕者たちの中でも、特に優れていました。次の世代が彼について聞いたとき、私は、「ネヴィルと共に歩んだのです」と誇りを持って言える一人です。

「われらにおのが日を数えることを教えて、知恵の心を得させてください。」詩篇90:12

アンドリュー・ミラー  
DMIオーストラリアのコーディネーター



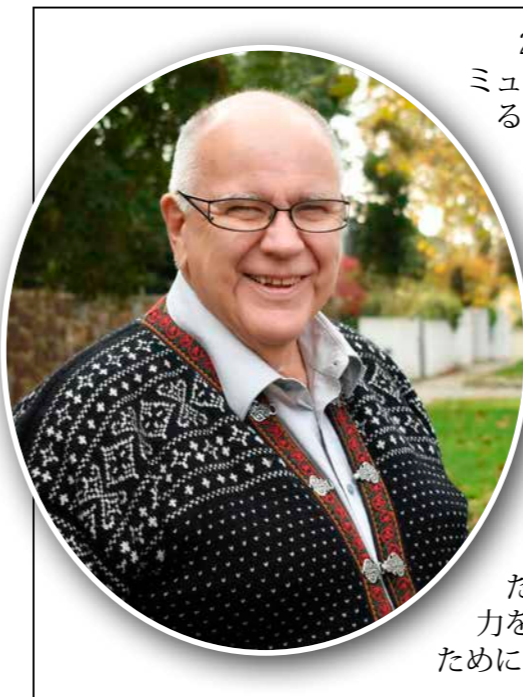
ミュアー家族 (2018年) The Muir family in 2018

 **Deaf Ministries International**  
**DMI 日本支部**  
Web: <http://japan.deafmin.org>  
Email: [info@japan.deafmin.org](mailto:info@japan.deafmin.org)  
Tel/Fax: マドレ  
(代表: 真神嶺) 075-871-8562  
(スポンサーシップ: マイケルセン) 090-4307-0717  
(会計: マーシャル) 06-4980-5414  
郵便 (真神嶺・アレイン宛):  
616-8228 京都市右京区常盤下田 20-615  
**DMI 国際本部 (オーストラリア)**  
Web: <http://deafmin.org>  
Email: [muir@deafmin.org](mailto:muir@deafmin.org)  
P.O. Box 395 Beaconsfield Vic. 3807 Australia  
Tel: +61-3-5940-5430  
Fax: +61-3-5940-5432



# DMI 国際ろう者支援協会 日本

2021年冬号



2020年11月12日は主が、DMIの創始者であり敬愛されたネヴィル・ミュアーを、主と共にある、より良い世界に連れて行くため、この世を去ることを選ばれた日でした。このニュースレターは、神の下で、国際ろう者支援協会の素晴らしいミニストリーを始めるために用いられたネヴィル・ミュアーに捧げるものです。

それ以来、故人を称える多くのメッセージや、思いを綴ったメッセージが寄せられました。スペースの都合上、すべてをお見せすることはできませんが、ここでは特に日本のろう者からのメッセージをご紹介します。アンドリュー・ミラーからの言葉は、ほんの一部に過ぎませんが、日本語での全文は、DMI日本のウェブサイトに掲載されています：<https://japan.deafmin.org/neville-muir> 英語の原文には、他の多くの人達からの追加コメントが含まれています：<https://deafministriesinternational.com/neville-muir>

DMIとネヴィルはこの移行に向けて準備を進めてきましたが、私たちはネヴィルの遺志を受け継いで、世界中のろう者のために最善の努力を続けていきたいと思えます。どうかネヴィルの家族とDMIの指導者のためにお祈りください。

## ネヴィル・ミュアー先生を偲んで

「神のなさることは、すべて時になんて美しい。」(伝道者の書 3:11)

ネヴィル先生との出会いは1993年4月に東京渋谷区のバプテスト宣教教団センターで開催された日本ろう福音会理事会に先生が出席された時でした。それから親しい友達となり、神戸を訪問し交わりをしたり、泊まらせていただきました。

先生の書斎に入ると壁に貼ってある世界地図の中に韓国、東南アジア、東アフリカのろう牧師、伝道師の写真を見ました。先生は色々な国に行き福音を宣べ伝えられ、沢山のろう教会やろう学校を設立されたということで驚きました。本当に凄いですね。そればかりではなく、貧しいろう牧師たちの生活費のためサポート出来るように宣伝し活動してこられました。重荷と使命が与えられた先生の活動は並大抵ではないけど、思いやりのある愛と信仰と忍耐と祈りをもって神の国と神の栄光のために忠実に仕えてこられました。先生はこれまで世界のろう者の魂の救いのために開拓伝道をし教会設立に貢献され全力を尽くして来られました。私は先生の影響を受けて世界宣教に関するようになりました。

私たち夫婦と南田政浩先生(当時は神学生)、棚田茂兄夫妻は1996年6月にスウェーデンのストックホルムにあるフィラデルフィア教会で開催されたヨーロッパ大会に参加させていただきました。色々

な国からはるばると来られた沢山のろう者クリスチャンにお会いし、同じ主にある交わりが出来て幸いでした。

それから私たち夫婦は個人的にノルウェーのベルゲンに観光した後で、ベルゲン空港からオスロ空港に到着した時、ネヴィル先生やウガンダのダビデ・ブルメ牧師たちが出迎えて下さいました。ネヴィル先生の奥さんのリル姉の実家の近くにあるホテルに2泊し、色々な所を観光案内し連れて行ってくれました。3日間、ダビデ・ブルメ牧師との交わりを通して彼の救いとウガンダ宣教について聞き知ることができて恵みの時を感謝しました。

その後、二度ウガンダのダビデ・ブルメ先生を日本へ招待し、彼のメッセージを聞きながら通訳させていただきました。東アフリカろう者たちの魂の救



2017年のDMI大会(ノルウェー)にて、ネヴィルと湊崎先生  
Neville and Pastor Minatozaki  
in Norway at the 2017  
DMI conference



いのために牧師や伝道師、指導者を育成するために聖書学校を設立したいとブルメ牧師が言いました。私は、ウガンダろう聖書学校建設のために協力出来たらと思ひ、JDBF各教会（小さな団体・少数）に宣伝しましたところ、沢山の献金が与えられたのでウガンダへ送金しました。彼はカンパラ郊外にある中古住宅を購入し聖書学校を開設出来ました。最初の神学生は4名だったそうです。それからウガンダの近隣諸国（ケニヤ・コンゴ、ルワンダなど）からウガンダろう聖書学校に入学する神学生が増えてきたそうです。卒業後に牧師や伝道師たちが遣わされたウガンダ国内はじめ近隣諸国を開拓伝道し教会建設することが出来た事を自分の如く大変嬉しかったです。JDBFは今もウガンダろう聖書学校に支援金を送っています。

JDBF各教会はこれまでDMIとの関係あるフィリピン災害義援金、キャンプ参加費などを送金しました。ミャンマーのヤンゴンのインマヌエルろう教会のためにキャンプ参加費を、中国のろう牧師や伝道師たちのために支援金を、カレミョのミュアール学校のためにテレビ、冷蔵庫、アンテナ、ホワイトボードを6台、浄水器などを、チンろう者教会のリフォーム費用を捧げました。

『受けるよりも与えるほうが幸いである』（使徒20:35）とありますように、捧げる恵みに与ることが出来てとても感謝です。

もしネヴィル先生と出会いがなければ、世界宣教とサポートに向けて参加しなかっただろう。ネヴィ

ル先生との素晴らしい出会いを神様に感謝します。

ネヴィル先生は11月12日に天に召されました。世界各ろう教会の牧師、伝道師、信徒たちはショック受け、とても悲しみに沈んでいます。それぞれの教会で偲ぶ会が行なわれました。世界各教会ろう者の皆さんは先生の事を慕わしく愛し尊敬しているということが分かります。

ネヴィル先生の優しい眼差しと笑顔は決して忘れられません。世界のろう者の魂の救いのためにひたむきな愛情と情熱をもって伝道と教会設立に東奔西走して来られました。頭の下がる思いです。これまで有難う。お疲れ様でした。天国において素晴らしい冠をお受けになられると信じています。

湊崎 真砂  
佐世保ローア・バプテスト教会の牧師

奈良ルーテル教会で初めてネヴィル先生と会い、いきなり通訳を任されて手話、身振り、英語片言めちやくちゃ会話で夢中でやり、何とか通じて汗だくでした！しかし初めて外人と話し合えたと有頂天でした！変な会話に関わらず、優しく相手にしてくれました。それから、ネヴィル先生を奈良聾学校、筑波大学附属聾学校文化祭へ連れて行きました。50年前はまだ外人と手話会話ができる時代でなく、しかもネヴィル先生は美男紳士でらっしゃって注目され、私ハナタカでした(笑)。ネヴィル先生は世間知らずの私を海外ボランティア活動に紹介して、色々体験勉強させてくれたのでした。こうしてキリストは一つ、世界に共通する、と信仰確信出来たのでした。感謝したいです！

高原 和子

初めて出会ったのは中学3年の時でした。礼拝で御言葉を手話で語っていたネヴィル先生の姿は今でも

忘れられません。御言葉の深さ、ユーモアの溢れた説教を通して救われました。

一時的に信仰スランプにおちいる時がありました。その時にネヴィル先生の言葉を思い出しました。

彼に出会ったことから人生が変わり、イエス様の愛を感じるようになりました。

最後にお会いした時、先に天国へ行くけど、天国で会えるのを楽しみにしてるよ。祈りますと言っていたネヴィル先生…。その言葉を信じて全うしていきます。

ハレルヤ

上村 文洋

### ネヴィル・ミュアール師 天国に凱旋

11月12日午前9時、ネヴィル・ミュアール師はこの地上の身体を脱ぎ捨て主の元に昇天されました。ネヴィルさんは私にとって50年間の良き友であり、福音宣教の同僚でありました。今や天国はネヴィルさんがいらっしゃることでより一層明るいことでしょう。

ネヴィルさんが京都でリルさんと結婚なさった時、私はネヴィルさんのお父さんの代役を務めました。私が1974年に大阪インターナショナルチャーチの創始に召された時、ネヴィルさんはその初回の礼拝に出席してくださいました。私は、当時、アメリカ合衆国に本部を置きキリスト教を基に世界でご奉仕するワールド・オポチュニティーズ・インターナショナル(WOI)の海外副総裁も務めていました。ある日、ネヴィルさんとリルさんご夫婦が訪ねて来られ、韓国のろう者への宣教をWOIの働きの一つとしてもらえないだろうか和相談がありました。それがまさにWOIろう者宣教の働きの始まりでした。その後、私も韓国のろう者の皆さんを頻りに訪ねる喜びにあずかり、ろう者に福音を分かち合う興味が増していきました。ネヴィルさ

んは日本に住みながらもアジアを初め、世界中の国々に在住するろう者に向けて福音をもって手を差し伸べていかれ、まもなく、ネヴィルさんのろう者への働きはその母団体であるWOIの働きそのものよりも大きく膨れ上がってしまいました。そこで、ネヴィルさんご自身の団体をお始めになるように提案したことから、今のDMI国際ろう者支援協会が設立されるに至ったのです。

ろう者からろう者へとネヴィルさんの働きは伝わっていき、瞬間に次から次へとさまざまな国々がDMIに加えられていきました。私は妻の恵子とともに、様々な国々でネヴィルさんと一緒にご奉仕させていただきました。文字通り、何千人ものろう者が、肉体の耳は聴こえなくとも、心の耳で福音を聞くに至り、多くのろう者の方々がDMIの働きを通してイエスを自分たちの救い主だと知り、そのキリスト信仰に導かれてこられました。

ご遺族のリルさん、息子さんたちとそれぞれの家族の皆さんのために、また、神さまからの恵みに満ちた贈り物としてネヴィルさんを慕い求めてこられた世界中のDMIろう者家族の皆さんのために、特別な愛をもってお祈り申し上げます。

私自身、ネヴィルさんと個人的に知り合わせていただいたことで謙虚な思いにさせられています。ネヴィルさんは他に類を見ることがないユニークな主のしもべでした。ネヴィルさんのような方はいないことでしょう。妻の恵子と私はネヴィルさん



ネヴィルはワールドビジョンを通じてこのろうの韓国人少年をスポンサーして、それがDMIの創立のきっかけになりました。その後、イ・ドゥヒョンはネヴィルが設立した教会の牧師になりました。  
Neville's World Vision sponsorship of this Deaf Korean boy was the spark for the start of DMI. Later, Doo Hyong Lee became pastor of a church Neville founded.



November 12, 2020 was the day the Lord chose to take the much loved founder of DMI to leave this world for a better one with Him. This newsletter is a tribute to Neville Muir, who, under God, was used to start the amazing ministry of Deaf Ministries International.

There have been many tributes and reflections written since then, but space will not allow us to share all of them with you. The six tributes in the enclosed Japanese newsletter include three from Deaf Japanese that we did not translate into English, but instead we are sharing several from around the world published in the December 2020 international newsletter (see the whole PDF at: <https://deafmin.org/newsletters>). And we highly recommend Andrew Miller's tribute on the DMI blog:

<https://deafministriesinternational.com/neville-muir> →



DMI and Neville have been preparing for this transition, and we will carry on Neville's legacy by continuing to care for the Deaf around the world to the best of our abilities. Please pray for his family and the DMI leadership.

On November 12th Neville Muir shed his earthly body and ascended to ever be with his Lord. He had been a friend and co-worker in the Gospel for almost 50 years. Heaven will be brighter because of his presence.

I stood in for Neville's father at the wedding when he married Lill in Kyoto, Japan. When I was called to launch the ministry of Osaka International Church in 1974, Neville attended the first service. At that time I was also serving as Overseas Vice-President for a Christian service organization named World Opportunities International (WOI) based in the USA. One day Neville and Lill came to us to ask if it would be possible for them to go to Korea to evangelize the Deaf under our organization's sponsorship. Thus WOI Deaf Ministries was founded. I had the joy of visiting them in Korea often, which increased my interest in the ministry among the Deaf. Neville began reaching out from Korea to the Deaf in other countries throughout Asia and eventually around the world. In this way Neville's ministry among the Deaf soon outgrew the work of the organization WOI. We suggested he begin his own organization, and thus DMI (Deaf Ministries International) was founded.

Country after country was added to DMI. My wife Keiko and I have ministered with Neville in many of

those countries. Literally thousands of Deaf have heard the Gospel, and so many have come to know Jesus as their Savior through the ministries of DMI.

Our special love and prayers are with Lill, the boys and their families, and with the worldwide family of DMI who looked to Neville as God's gracious gift to all of them.

I am humbled to have known Neville personally. Neville was a unique servant of the Lord and there will never be another man like him. Both my wife Keiko and I have been blessed to be a part of Neville and Lill's ministry over these many years. We have memories that will always linger in our hearts.

### **Jack Marshall - Pastor of Rejoice International & DMI Japan board member**

Long before God called me to join DMI, I met Neville. What struck me was how humble he seemed to be. An international leader and a mission pioneer, so humble...? When I went on my first mission trip with him ten years ago, I discovered more. Love! I saw how he loved the Deaf and how they responded to this love. And I myself felt loved too. When God now has taken Neville home, he is leaving a ministry where he has set a standard for leadership which he must have learned from Jesus: lead people by serving them

in a humble and loving way. "We love because he first loved us." 1 John 4:19

### **Gunnar Dehli - DMI International Director**

You are the very reason why I chose to stay at the school and dedicate my life in the deaf ministry for many years (27 years). Through you I've witnessed how God miraculously work in our school, proving that with Him, all things are possible because of your dedication, hard work and great faith in God!

Anabelle - Head of Fisherman of Christ Learning Center, Ligao

"We from DMI Bicol Deaf Action/ Fishermen of Christ Inc Phils deeply mourning for his departure. We will never forget Sir Neville. We respect him and love him so dearly. No words can express how much we thank and appreciate him for all the things he has done for our Organization. He did his best to support the ministry here in the Philippines specially the deaf people. We treasure all the wonderful memories of his visit when he was alive. To the family of this good man, our prayers and deepest sympathy for your bereavement. You are so lucky for having a godly head of the family. And to us all DMI Family, let us all help one another and support each other."

### **Bing - Director of DMI Ligao**

Faith, hope, and love.

Neville brought the Gospel to many deaf people with vast faith and hope. You showed us God's unconditional love. I will never forget how I witnessed Neville sang wholeheartedly and with full joy, Psalm 118:24: "This is the day the Lord has made; we will rejoice and be glad in it," although DMI was in a hard situation at that time. The experience of the relationship with God that Neville had was really tangible. I am going to miss Neville's endlessly faith and hope for a bigger blessing. The love you showed continues in us because you were a man close to God and revealed God's eternal love for us. Thank you so much, Neville.

---

### **Matthijs Terpstra - DMI Finance Manager (Norway)**

---

We first met Neville in 1969 when pastoring Collingwood Church of Christ. He turned up at our evening services with a dozen or more deaf in tow. This started for us an amazing friendship as we supported, prayed for and visited many of the DMI centres. We were inspired by Neville's passion, patience, endless compassion and constant supply of stories of earthquakes, house fires, boiling toilets etc. Our lives are the richer for knowing him – to us he was God's 'Apostle to the Deaf'.

To Lill and the family we extend our heartfelt sympathy and assure them of our continued prayer and support.

---

### **Barry & Anne Cutchie - Australia**

---

We met 15 years ago, today he went to his friend and Savior Jesus. Neville, your simple heart, your wonderful laugh, and your encouragement, made a good impression in my life and the lives of my wife and even my children.

---

### **Fadi Alchoufi - DMI Syria**

---

My best friend, my spiritual Dad, Neville Muir is gone. For sure he is with you God. Tears in heaven. So do not fears for I am with you; do not be dismayed, for I am your God. I will strengthen you and help you;

I will uphold you with my righteous right hand.

---

### **Joey - China**

---

Our beloved friend, mentor and father. You have gone to be with the Lord. You fought well and have won. We will miss your love, listening ear, smile, wisdom, understanding, the way you knew every person by name and personal details, your genuine love for the most vulnerable, your faith and above all your love and enthusiasm to see that the Gospel reaches the deaf souls globally and more specifically Africa. Your love and faith for and in Africa will forever remain with us. Rest in Peace and see you again in Glory.

---

### **Simon Begumisa - DMI Uganda**

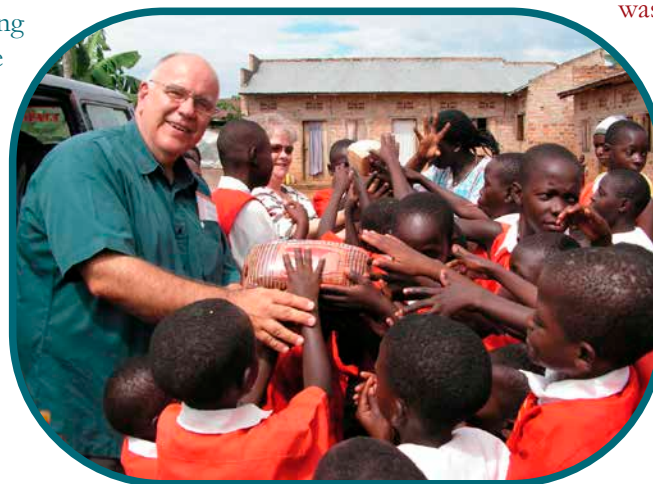
---

Rich rewards await him in heaven for his wonderful service among the deaf. I am glad I crossed his path at a conference in Switzerland years back. I was blessed to know him more intimately during his visits to South Africa. Our prayers go for the families, his devoted wife Lil.

---

### **William Warmington**

---



Neville were introduced to me by my late Husband who had been a student at VSDC. As I seen him at DCF and other church and got to know him each time. Then when DMI were formed and I attend 2008 Egypt conference. Bit by bit I was inspired by his work and his knowledge of Korean Sign Languages. He is a mountain of a Man who faithfully serve and committed to the Lord when he

made that promise since he was a little boy. And kept this promise from that day onward.

We are sorry to see you go and knew your time was up, you fought that long and hard battle. You have been an inspiration to us all around the Globe. Your example shone on us. We all are in this as ONE and must work together to continue DMI. And praying that the new leader and helpers will continue to grow. My Sympathy to Lil and four sons and extended families. You won't be forgotten.

---

### **Linda Beasley - United Kingdom**

---

We started Deaf Missionary in 1996 because we were challenged by Neville and He encouraged us to reach more Deaf people in other country. Thank God for his gift of communication with Deaf people on different language and International Sign Language in different country which leads us to do this because of his example.

---

### **Raymond and Rita Abernethy - Northern Ireland**

---

I too had the honor of walking with Neville in many countries and missions. We too laughed, prayed and worked. It was an honor. I will miss him. We had a standing joke about whoever got to the meeting or event first to save. A seat for the other. So, Neville, save me a seat! See you later my friend. Praying for all his family.

---

### **Debbie Kahn - His Sign and Deaf Child Hope**

---

Neville rescued me from homelessness when I was living in Korea in 1983. I lived in a room at the back of the Incheon Church for several months. Neville, Lille and their family were a breath of fresh air for me. I echo what Andrew has said: Neville had a great sense of humour. He could always make me laugh. He was incredibly generous. He took the Gospel to the ends of the Earth. I can hear Jesus say to Neville: "Well done, good and faithful servant. Come into the kingdom prepared for you.

---

### **John Lachlan Dodwell**

---